

學習指導要項 商学部（別添）

目 次

学習指導要項 商学部（別添）

第 1	商学部カリキュラムについて	3
1	カリキュラムのねらい.....	3
2	新カリキュラム導入に伴う注意事項....	3
3	入学年度と適用される学則	3
4	科目改編に伴う注意点.....	4
5	授業科目ナンバリング（K-Number）に ついて.....	5
6	「遠隔（オンライン）授業」の単位数上 限について.....	6
第 2	商学部 05 学則（2018 年度以前入学者） 商学部 4 年間の展望	7
1	卒業に必要な単位数	7
2	進級に必要な在学学期数および単位数...	7
第 3	商学部 05 学則 第 1・2 学年での 履修にあたって	8
1	設置科目とその単位数.....	8
2	各科目の履修方法と必要単位数	8
3	クラス指定について	11
4	必修単位不合格者の履修上の注意.....	11
	商学部第 1・2 学年設置科目	12
	三田設置専攻科目（Ⅲ類）（参考）.....	17
第 4	商学部 05 学則・19 学則共通 履修上の注意	19
	(1)設置学年について.....	19
	(2)履修上限単位	19
	(3)重複履修について.....	19
	(4)A 欄申告と B 欄申告について	20
	(5)科目名の末尾について.....	21
	(6)指定演習科目について.....	21
	三田のゼミ担当者から 1・2 年生に 向けての履修要望	22
第 5	特色あるプログラム	23

1 カリキュラムのねらい

商学部のカリキュラムの特徴は、問題発見・解決能力、情報発信能力、コミュニケーション能力などの知的鍛錬の強化を狙っていることです。本カリキュラムの主旨を十分に理解して、皆さんが充実した履修計画を立案することを期待します。

2 新カリキュラム導入に伴う注意事項

商学部では2019年4月入学者より新カリキュラムが導入されました。2018年度以前の入学者の卒業単位・進級条件は変わりません。どの学則が適用されるかを必ず確認し、履修計画を立ててください。

3 入学年度と適用される学則

05学則：2005年度以降2018年度以前に第1学年に入学した者に適用される学則。

19学則：2019年度以降に第1学年に入学した者に適用される学則。

本ページ以降は05学則の学生のみ適用される項目を記載します。

4 科目改編に伴う注意点

旧学則科目は、以下の表のとおり、新学則科目と併設（合同授業）になります。
開講学期の変更もありますので、時間割表をよく確認してください。

05 学則科目		単位数	19 学則科目	単位数
Ⅰ 類基礎必修科目	微積分Ⅰ	2	微積分基礎	2
	微積分Ⅱ	2	微積分	2
	統計学Ⅰ	2	統計学基礎	2
	統計学Ⅱ	2	統計学	2
Ⅱ 類基礎基盤科目	経済史Ⅰ	2	経済史Ⅰ	2
	経済史Ⅱ	2	経済史Ⅱ	2
	社会経済学Ⅰ	2	休講	—
	社会経済学Ⅱ	2	休講	—
	私法基礎Ⅰ	2	私法	2
	私法基礎Ⅱ	2		
Ⅰ 類専攻核科目	経営学(環境と戦略)	2	経営学基礎	2
	経営学(組織と管理)	2	経営学(組織と戦略)	2
	基本簿記と財務諸表の見方	2	会計学基礎 (基本簿記と財務諸表の見方)	2
	商業学Ⅰ	2	商業学 (マクロ・マーケティング)	2
	商業学Ⅱ	2	商業学 (ミクロ・マーケティング)	2
Ⅱ 類専攻基本科目	応用経営学 (企業をめぐる諸課題)	2	経営学(企業をめぐる諸問題)	2
	応用簿記	4	応用簿記Ⅰ	2
			応用簿記Ⅱ	2
	財務会計論Ⅰ	2	会計学(財務会計論Ⅰ)	2
	財務会計論Ⅱ	2	会計学(財務会計論Ⅱ)	2
	管理会計論Ⅰ	2	会計学(管理会計基礎)	2
	管理会計論Ⅱ	2	原価計算基礎	2
	企業法	4	企業法Ⅰ	2
			企業法Ⅱ	2
	マーケティング・マネジメント論	2	商業学基礎	2
	経済学Ⅰ	2	経済学(ミクロ経済学)	2
	経済学Ⅱ	2	経済学(マクロ経済学)	2
総合教育科目Ⅳ類	確率論基礎	2	確率論	2

5 授業科目ナンバリング (K-Number) について

2022 年度より、全授業科目に対して、レベルや学問分野、授業形態等を示す番号を付番する授業科目ナンバリング制度 (K-Number) を導入しました。

K-Number によって興味関心のある学問分野を検索し、体系的な学修計画に基づいた学びが可能となります。

なお、複数の学部・研究科に併設された授業科目については、各学部・研究科ごとに異なる K-Number が付与されます。

詳細は塾生サイト、シラバス・時間割検索を参照してください。

K-Number の構成 〈商学部設置科目の見方〉

FBC-BC-1 1 11 1-1 1 1-11

① ② ③④ ⑤ ⑥ ⑦⑧⑨ ⑩

		種類	内容
①	科目設置	学部・研究科	商学部設置科目は FBC-BC と表記されます。 ※各学部・研究科の表記は塾生サイト参照
②		学科・専攻	
③	科目主番号	レベル (履修学年の目安)	0:学部共通 1:1 年次配当レベル(または入門／導入レベル) 2:2 年次配当レベル(または基礎レベル) 3:3 年次配当レベル(または応用／発展レベル) 4:4 年次配当レベル(または専門／実践レベル) 9:その他
④		分野	大分類 ※塾生サイト参照
⑤			
⑥		科目種別	1:必修科目, 2:選択必修科目, 3:選択科目, 4:自由科目, 9:その他
⑦	科目補足	授業区分(全塾共通)	1:語学, 2:講義, 3:演習, 4:実験・実習・実技, 5:論文, 6:研究指導, 7:講義および実習, 9:その他
⑧		授業形態(全塾共通)	1:対面授業(主として対面授業), 2:オンライン授業(主としてリアルタイム形式), 3:オンライン授業(主としてオンデマンド形式), 4:オンライン授業(全回オンデマンド形式)
⑨		授業言語(全塾共通)	1:日本語, 2:英語, 3:その他
⑩	学問分野	学問分野(全塾共通)	※塾生サイト参照

6 「遠隔（オンライン）授業」の単位数上限について

2022 年度以降の授業について、「大学設置基準」（文部科学省令）に基づき、大学学部（学士課程）に卒業要件単位数として含めることができる「遠隔（オンライン）授業」（※）の単位数上限は、60 単位と学部学則に明記されました。

各自、授業科目ナンバリング（K-Number）の授業形態項目などを確認し、卒業まで計画的な履修を行ってください。

参考：文部科学省 告示・通達 大学等における遠隔授業の取扱いについて（周知）
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00027.html

（※）「遠隔（オンライン）授業」とは、全体の講義回数のうち、対面以外で実施される講義回数が、半数を超える授業と定められています。

ただし、2020 年度および 2021 年度にオンライン授業で修得した単位については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による特例措置として、上限の対象外となります。

商学部 4 年間の展望

1 卒業に必要な単位数

商学部に設置されている科目およびその内訳と、卒業に必要な単位数は以下のとおりです。

この他に、自由科目（「自由科目Ⅰ」・「自由科目Ⅱ」）が設置されています。ただし、自由科目の単位は進級・卒業に必要な単位数としては算入されません（自由科目については本書 p. 20 の説明を参照）。

授業科目	内 訳	卒業に必要な単位数
外国語科目	英・独・仏・中・西	2 言語 (⑧+⑧=⑫)
総合教育科目	I 類 6 単位以上必要	20 以上 (指定演習科目 (本書 p. 21 参照) 2 以上)
	II 類	
	III 類	
	IV 類	
	V 類 4 単位まで算入可	
基礎科目	I 類 (基礎必修科目)	⑫
	II 類 (基礎基盤科目)	4 以上
専攻科目	I 類 (専攻核科目)	⑥+4 以上
	II 類 (専攻基本科目)	4 以上
	III 類 (3・4 年で履修)	46 以上
	IV 類 (3・4 年で履修)	
商学関連科目	(3・4 年で履修)	12 以上
計		128 単位以上

(○で囲んだものは必修)

※ I 類の 10 以上、II 類の 4 以上に加えて、I 類または II 類からさらに 4 単位の、合計 18 単位が必要です。

2 進級に必要な在学学期数および単位数

進級条件は在学学期数および単位数のみになりますが、卒業までに必ず取得しなければならない科目があります。語学科目を含め、必修科目は日吉キャンパスにのみ設置されていますので、1・2 年生のうちに取得するようにしてください。

【第 2 学年への進級条件】

第 1 学年において 2 学期以上在学し、合計 **30 単位** 以上を取得すること。取得単位が **30 単位** に満たない場合は進級できません。

【第 3 学年への進級条件】

第 2 学年において 2 学期以上在学し、合計 **30 単位** 以上を取得し、かつ第 1・2 学年を通じて、合計 **70 単位** 以上取得すること。いずれかの条件を満たさない場合は進級できません。

第1・2学年での履修にあたって

1 設置科目とその単位数

第1・第2学年に設置された科目名とその単位数ならびに分野コードを表（p. 12～16）に示します。各学年での履修にあたっては、p. 7「2 進級に必要な在学期数および単位数」や次項「2 各科目の履修方法と必要単位数」をよく読み、漏れがないよう履修申告してください。

2 各科目の履修方法と必要単位数

【外国語科目】

(1) 履修方法

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語のうちから、**2言語**を履修してください。なお、クラス発表時に指定された語種の変更はできません。また1年生で履修した語種を2年生で変更することもできません。

(2) 必要単位数

第1学年と第2学年でそれぞれ1言語につき**4単位**ずつ計**8単位**（外国語全体では**8+8=16単位**；**必修**）を取得する必要があります。

(3) 成績評価

英語は春学期と秋学期をセット履修しなければいけない科目ですが、成績は春学期・秋学期それぞれにつきます。英語以外の初習外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語）は、セット履修しなければいけない科目で、a・bいずれも成績は学年末につきます。

(4) その他

外国語の詳しい履修方法については、別冊『外国語科目・総合教育セミナー履修案内』を参照してください。語種によって履修の方法などが異なることがありますので、自分の選択した外国語科目の説明を熟読することが重要です。

【総合教育科目】

(1) 総合教育科目について

I類は自然科学系科目、**II類**は人文・社会科学系科目、**III類**は学際的・総合的科目、**IV類**は自主強化科目、**V類**は体育系科目（実技を含む）となっています。

これらの科目は大部分日吉地区に設置されているため、第1・2学年で取得しておくことが望ましいでしょう。

(2) 履修方法

I類の科目「化学Ⅰ（実験を含む）」「化学Ⅱ（実験を含む）」「生物学Ⅰ（実験を含む）」「生物学Ⅱ（実験を含む）」「物理学Ⅰ（実験を含む）」「物理学Ⅱ（実験を含む）」の履修方法についての詳細は以下を参照してください。

■自然科学科目（実験を含む）の履修について（塾生サイト）

<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/rishuguide.html>

■「自然科学科目（実験を含む）」ポータル（K-LMS）

<https://lms.keio.jp/courses/10626>

他学部・諸研究所設置の科目（ただし「現代ビジネス論Ⅰ・Ⅱ」等、一部科目を除く）は、1・2年生で**最高8単位**まで**Ⅲ類**として、卒業単位に算入できます。

また、**V類の科目**の履修方法についての詳細は以下を参照してください。

■体育科目履修案内（塾生サイト）

https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/files/hiyoshi_taiiku_rishu.pdf

(3) 必要単位数

総合教育科目の単位は卒業までに**20単位以上**取得することが必要です。Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ類の科目については、卒業に必要な各類毎の最低単位数はありませんが、**I類の科目は最低6単位**を取得することが必要です。またⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ類にある指定演習科目（本書 p. 21 参照）を**最低2単位**取得することも必要です。

V類は最高4単位までしか卒業単位に算入できないので注意してください。

ただし、自由科目としてはこの限りではありません（本書 p. 20 参照）。

(4) 総合教育セミナーについて

総合教育科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類に設置されている総合教育セミナーは、様々なテーマについて教員の指導の下で学生たちの報告・討論を中心に進める少人数制の授業です。各セミナーのテーマについては、塾生サイトの「シラバス・時間割」を参照してください。

(5) 自主強化科目について

自分が興味を持った分野（数学系演習科目・情報処理系演習科目・各外国語別演習科目）で、より深く学習する科目です。

【基礎科目】

(1) 基礎科目について

専門4分野（経営、会計、商業、経済・産業）の基礎を固める科目

(2) 必要単位数

I類（基礎必修科目）の6科目（第1学年配当の「経済学基礎Ⅰ」「経済学基礎Ⅱ」「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」*、第2学年配当の「統計学Ⅰ」「統計学Ⅱ」の計**12単位**）は、**必修科目**ですので、必ず履修・取得してください。

またⅡ類（基礎基盤科目）は**4単位**以上取得することが必要です。

※「微積分Ⅰ・Ⅱ」に関しては、春学期に「微積分Ⅰ」が不合格の場合、自動的に秋学期の「微積分Ⅱ」の登録を無効にします。秋学期に「微積分Ⅰ」のフォローアップクラスが開講されますので、希望者は再度履修が可能です。春に「微積分Ⅱ」が不合格の場合も、秋に再度履修が可能です。

【専攻科目】

Ⅰ類（専攻核科目）の第1学年配当「基本簿記と財務諸表の見方」（2単位）は**必修科目**です。また第1・2学年配当の「経営学（環境と戦略）」または「経営学（組織と管理）」のどちらか2単位、「商業学Ⅰ」または「商業学Ⅱ」のどちらか2単位を**必ず履修・取得**してください。第2学年配当の「産業経済論a・b」はセット履修科目で各2単位の計4単位になります。**Ⅰ類（専攻核科目）は10単位以上取得**してください。

Ⅱ類（専攻基本科目）は**4単位**以上の取得が必要で、さらに**Ⅰ類（専攻核科目）・Ⅱ類（専攻基本科目）**の中から**4単位以上取得し、合計で18単位以上**が必要になります。

なお、Ⅲ類とⅣ類は、三田設置の科目です。

【自由科目】

自由科目は進級および卒業に必要な単位数には含まれませんが、商学部独自のカリキュラムを超えて学習したい諸君が、純粋に自分の知的好奇心を満たすため、あるいは将来において教職のような資格を取得するために履修できる科目です。自由科目には、履修できる単位に上限がある「自由科目Ⅰ」と、上限なしに履修できる「自由科目Ⅱ」がありますが、履修できる科目に違いがあるので、履修上の注意（p. 19）をよく読んで履修申告をしてください。

3 クラス指定について

次の科目は、指定されたクラスで履修しなければなりません。指定クラスが重なるなどのやむをえない理由でクラスを変更する必要がある場合は、「学習指導相談」期間に必要な許可を受けてください。「学習指導相談」期間はK-SupportのNewsなどで確認してください。必修外国語のクラスは原則として変更できません。

〈クラス指定科目一覧〉

外国語科目	初習外国語（ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語）
基礎科目 I 類基礎必修科目	経済学基礎Ⅰ／Ⅱ 微積分Ⅰ 統計学Ⅰ
専攻科目 I 類専攻核科目	経営学（環境と戦略） 基本簿記と財務諸表の見方
専攻科目 II 類専攻基本科目	マーケティング・マネジメント論

4 必修単位不合格者の履修上の注意

前年度に「経済学基礎Ⅰ」「経済学基礎Ⅱ」「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」「基本簿記と財務諸表の見方」のいずれかが未取得のままで第2学年に進級した者は、これらの科目を再履修する必要があります。その場合、各年度で履修できる上限50単位の枠外となります。

取得した単位は、第3学年への進級条件の単位数に含まれます。

いずれもクラス指定科目ですので、履修クラスは第1学年の時間割で確認してください（指定クラスは、自分のクラスと同じカナの1学年クラスです）。

05学則 商学部第1・2学年設置科目

種類	分野	授業科目	1学年 2学年	最低必要単位数	
外国語科目	02-01-01	英語	4	第 1, 第 2 学年で 2 言語 計 16 単位 (必修)	
	02-01-02	ドイツ語	4		
	02-01-03	フランス語	4		
	02-01-04	中国語	4		
	02-01-05	スペイン語	4		
	02-01-11	日本語(外国人留学生)	4		
	02-02-01	英語	4		
	02-02-02	ドイツ語	4		
	02-02-03	フランス語	4		
	02-02-04	中国語	4		
	02-02-05	スペイン語	4		
02-02-11	日本語(外国人留学生)	4			
総合教育科目	Ⅰ 類	01-01-01	総合教育セミナーD(Ⅰ 類)	4	Ⅰ 類と合わせて卒業までに合計 20 単位以上。 Ⅰ 類は 6 単位以上 (必修)。 (ただし 1・2 学年でなるべく多 く履修しておくことが望まし い。)
			総合教育セミナーDab(Ⅰ 類)	4	
			総合教育セミナーS(Ⅰ 類)	2	
			他学部少人数セミナー(Ⅰ 類)	2・4	
		01-01-02	化学Ⅰ(実験を含む)	3	
			化学Ⅱ(実験を含む)	3	
			生物学Ⅰ(実験を含む)	3	
			生物学Ⅱ(実験を含む)	3	
			物理学Ⅰ(実験を含む)	3	
			物理学Ⅱ(実験を含む)	3	
		01-01-03	宇宙の科学	2	重複履修について(本書 p. 19 参照)
			科学と環境Ⅰ	2	
			科学と環境Ⅱ	2	
			現代生物学概論※	2	
			自然人類学※	2	
			自然地理学Ⅰ	2	
			自然地理学Ⅱ	2	
			心理学Ⅰ	2	
			心理学Ⅱ	2	
			心理学Ⅲ	2	
			心理学Ⅳ	2	
			人類学Ⅰ	2	
			人類学Ⅱ	2	
			生命現象の分子科学※	2	
			生命の科学	2	
			地学Ⅰ	2	
			地学Ⅱ	2	
			地球科学概論Ⅰ	2	
			地球科学概論Ⅱ	2	
			天文学Ⅰ	2	
			天文学Ⅱ	2	
			動物行動学	2	
			料理と科学Ⅰ	2	
			料理と科学Ⅱ	2	
	Ⅱ 類	01-02-01	総合教育セミナーD(Ⅱ 類)	4	2025 年度休講
			総合教育セミナーDab(Ⅱ 類)	4	
			総合教育セミナーS(Ⅱ 類)	2	
			他学部少人数セミナー(Ⅱ 類)	2・4	
		01-02-02	異文化コミュニケーションⅠ	2	
			異文化コミュニケーションⅡ	2	
			映像・音響文化論	2	
			音楽Ⅰ	2	
			音楽Ⅱ	2	
			科学史Ⅰ	2	
			科学史Ⅱ	2	
			科学史Ⅲ	2	
			科学史Ⅳ	2	
				2	

種類	分野	授業科目	1学年	2学年	最低必要単位数
総合教育科目	Ⅱ類	01-02-02 漢文Ⅰ	2		Ⅰ類と合わせて卒業までに合計20単位以上。
		漢文Ⅱ	2		
		近代思想史Ⅰ	2		Ⅰ類は6単位以上(必修)。(ただし1・2学年でなるべく多く履修しておくことが望ましい。)
		近代思想史Ⅱ	2		
		経済人類学Ⅰ	2		Ⅰ類～Ⅳ類 指定演習科目(本書p.21参照)2単位以上(必修)
		経済人類学Ⅱ	2		
		芸術文化論Ⅰ	2		重複履修について(本書p.19参照)
		芸術文化論Ⅱ	2		
		健康・身体活動Ⅰ	2		2025年度休講
		言語学Ⅰ	2		
		言語学Ⅱ	2		社会心理学Ⅰ・Ⅱは2年のみです。
		言語学Ⅲ	2		
		言語学Ⅳ	2		
		言語認識論	2		
		現代芸術論	2		
		現代思想論	2		
		現代社会論	2		
		現代世界史	2		
		現代日本史	2		
		現代メディア論	2		
		国語国文Ⅰ	2		
		国語国文Ⅱ	2		
		社会学Ⅰ	2		
		社会学Ⅱ	2		
		社会心理学Ⅰ	2	2	
		社会心理学Ⅱ	2	2	
		宗教学Ⅰ	2		
		宗教学Ⅱ	2		
		宗教学 ab	4		
		ジェンダー論Ⅰ	2		
		ジェンダー論Ⅱ	2		
		女性学	2		
		身体文化論	2		
		人文総合講座Ⅰ	2		
		人文総合講座Ⅱ	2		
		政治学Ⅰ	2		
		政治学Ⅱ	2		
		世界の政治	2		
		造形・デザイン論	2		
		地域研究—東南アジア	2		
		地域研究—アフリカ	2		
		地域研究—スペイン事情Ⅰ	2		
		地域研究—スペイン事情Ⅱ	2		
		地域研究—中国事情Ⅰ	2		
		地域研究—中国事情Ⅱ	2		
		地域研究—中国事情Ⅲ	2		
		地域研究—中国事情Ⅳ	2		
		地域研究—北米事情Ⅰ	2		
		地域研究—北米事情Ⅱ	2		
		地域研究—ヨーロッパ事情Ⅰ	2		
		地域研究—ヨーロッパ事情Ⅱ	2		
		地域生態文化論	2		
		地域文化論	2		
		地域文化論Ⅰ	2		
		地域文化論Ⅱ	2		
		地域文化論Ⅲ	2		
		地域文化論Ⅳ	2		
		中国事情	2		
		地理学Ⅰ	2		
		地理学Ⅱ	2		
		哲学Ⅰ	2		

種類	分野	授業科目	1学年 2学年	最低必要単位数
総合教育科目	Ⅱ類	01-02-02 哲学Ⅱ	2	Ⅰ類と合わせて卒業までに合計 20 単位以上。 Ⅰ類は 6 単位以上（必修）。 (ただし 1・2 学年でなるべく多 く履修しておくことが望まし い。) Ⅰ類～Ⅳ類 指定演習科目 (本書 p. 21 参照) 2 単位以上 (必修) 重複履修について(本書 p. 19 参照) 2025 年度休講
		ドイツ事情Ⅰ	2	
		ドイツ事情Ⅱ	2	
		日本の政治	2	
		東アジア宗教文化概論Ⅰ	2	
		東アジア宗教文化概論Ⅱ	2	
		東アジア宗教文化概論Ⅲ	2	
		東アジア宗教文化概論Ⅳ	2	
		人の尊厳(社会と人権)	2	
		美術Ⅰ	2	
		美術Ⅱ	2	
		フランス事情Ⅰ	2	
		フランス事情Ⅱ	2	
		文化人類学Ⅰ	2	
		文化人類学Ⅱ	2	
		文学Ⅰ	2	
		文学Ⅱ	2	
		法学Ⅰ(憲法を含む)	2	
		法学Ⅱ(憲法を含む)	2	
		倫理学Ⅰ	2	
		倫理学Ⅱ	2	
		歴史Ⅰ	2	
		歴史Ⅱ	2	
		老年学Ⅰ	2	
		論理学Ⅰ	2	
		論理学Ⅱ	2	
	Ⅲ類	01-03-01 総合教育セミナーD(Ⅲ類)	4	
		総合教育セミナーDab(Ⅲ類)	4	
		総合教育セミナーS(Ⅲ類)	2	
		他学部少人数セミナー(Ⅲ類)	2・4	
	01-03-02	アグノトロジー入門	2	
		医療・福祉の行政	2	
		科学技術と現代社会	2	
		科学と社会	2	
		障害者雇用の現状と将来	2	
		情報リテラシー基礎	4	
		生命の教養学	2	
		21 世紀の実学	2	
		バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門Ⅰ	2	
		バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門Ⅱ	2	
		比較文化論Ⅰ	2	
		比較文化論Ⅱ	2	
		表象文化論Ⅰ	2	
		表象文化論Ⅱ	2	
		民族文化論	2	
		ラテンアメリカ研究Ⅰ	2	
		ラテンアメリカ研究Ⅱ	2	

種類	分野	授業科目	1学年 2学年	最低必要単位数
総合教育科目	Ⅲ類	01-03-03 (A欄) ・学生総合センター設置科目「大学生活における責任と危機管理」※3・4年生は自由科目Ⅰでのみ履修可 ・全学部共通科目「データサイエンスと人工知能」 ・教養研究センター設置講座(アカデミック・スキルズⅠ～Ⅳ、生命の教養学を除く)		他学部設置の講義科目および諸研究所設置科目は、1・2年生で8単位までしか卒業単位に算入できない。
		(B欄38) ・その他 商学部設置科目の外国語科目〔必修語学を必修分とは別に履修する場合〕 ・他学部設置の科目で担当教員に履修が許可されたもの(設置学部の必修科目および商学部設置科目と同一名称の科目を除く) ・言語文化研究所設置講座 ・メディア・コミュニケーション研究所設置講座 ・福澤研究センター設置講座(日吉設置科目のみ) ・国際センター設置講座 ・保健管理センター設置講座 ・外国語教育研究センター特設講座 ・グローバルセキュリティ研究所設置講座 ・グローバルリサーチインスティテュート設置講座「リーダーシップ基礎」(日吉設置) ・ミュージアム・コモンズ(KeMCO)講座		
		01-03-04 アカデミック・スキルズⅠ アカデミック・スキルズⅡ アカデミック・スキルズⅢ アカデミック・スキルズⅣ アカデミック・リテラシー	2 2 2 2 2	
	Ⅳ類	01-04-01 確率論基礎 ゲーム理論基礎 線形代数 線形代数演習 中級線形代数 中級微積分 微積分演習	2 2 2 2 2 2 2	Ⅰ類と合わせて卒業までに合計20単位以上。 Ⅰ類は6単位以上(必修)。 (ただし1・2学年でなるべく多く履修しておくことが望ましい。) Ⅰ類～Ⅳ類 指定演習科目 (本書p.21参照)2単位以上(必修) 重複履修について(本書p.19参照) 2025年度休講
		01-04-02 データとの対話 Dab データとの対話 S	4 2	
		01-04-03 英語アカデミックライティング 英語ディスカッション 英語ディベート 英語プレゼンテーション 英語リーディングセミナー 英語リスニングセミナー	2 2 2 2 2 2	
		01-04-04 ドイツ語インテンシブⅢ ドイツ語インテンシブⅥ	2 2	
		01-04-05 フランス語インテンシブⅢ フランス語インテンシブⅥ	2 2	
		01-04-06 中国語インテンシブⅢ 中国語インテンシブⅥ	2 2	
		01-04-07 スペイン語インテンシブⅢ スペイン語インテンシブⅥ	2 2	
	Ⅴ類	01-05-01 体育実技 A 体育実技 B	1 1	Ⅴ類は最高4単位までしか卒業単位に算入できない。4単位を超えて履修する場合は、自由科目Ⅰとして登録すること。
		01-05-02 体育学講義Ⅰ 体育学講義Ⅱ 体育学演習	2 2 1	

種類	分野	授業科目	1学年	2学年	最低必要単位数		
基礎科目	Ⅰ類基礎必修科目	03-01-01 経済学基礎Ⅰ	2		第1学年で合計8単位(必修)	Ⅰ類合計12単位	
		経済学基礎Ⅱ	2				
		03-01-02 微積分Ⅰ	2				
		微積分Ⅱ	2				
	Ⅱ類基礎兼選科目	03-01-03 統計学Ⅰ		2	第2学年で合計4単位(必修)		Ⅰ類合計10単位以上 Ⅱ類合計18単位以上
		統計学Ⅱ		2			
		03-02-01 経済史Ⅰ	2				
経済史Ⅱ	2						
03-02-02 社会経済学Ⅰ	2						
社会経済学Ⅱ	2						
03-02-03 私法	2						
専攻科目	Ⅰ類専攻核科目	04-01-01 経営学(環境と戦略)	2		第1・2学年で2単位以上(必修)	Ⅰ類合計4単位以上	
		経営学(組織と管理)	2				
		04-01-02 基本簿記と財務諸表の見方	2		第1学年で2単位(必修)		
		04-01-03 商業学Ⅰ	2		第1・2学年で2単位以上(必修)		
	商業学Ⅱ		2				
	Ⅱ類専攻基本科目	04-01-04 産業経済論 a		2			
		産業経済論 b		2			
		04-02-01 応用経営学(企業をめぐる諸課題)		2	第1・2学年で4単位以上		
		04-02-02 応用簿記Ⅰ	2				
		応用簿記Ⅱ	2				
		財務会計論Ⅰ	2				
		財務会計論Ⅱ	2				
		管理会計論Ⅰ	2				
		管理会計論Ⅱ	2				
		監査論	2				
		企業法Ⅰ	2				
		企業法Ⅱ	2				
04-02-03 マーケティング・マネジメント論		2					
04-02-04 経済学Ⅰ	2						
経済学Ⅱ	2						
第2学年に進級するための必要単位数			合計30単位以上				
第3学年に進級するための必要単位数			第2学年で合計30単位以上かつ 第1・2学年の合計70単位以上				
可	自由科目Ⅰ (B欄60)	・他学部設置の科目で担当教員に履修が許可されたもの(設置学部の必修科目および商学部設置科目と同一名称の科目を除く) ・商学部設置科目(必修科目は履修を許可された場合のみ) ・「現代ビジネス論Ⅰ・Ⅱ」 ・学生総合センター設置科目「大学生活における責任と危機管理」 ・言語文化研究所設置講座 ・メディア・コミュニケーション研究所設置講座 ・体育研究所設置講座 ・福澤研究センター設置講座 ・国際センター設置講座 ・保健管理センター設置講座 ・外国語教育研究センター特設講座 ・教養研究センター設置講座 ・グローバルセキュリティ研究所設置講座 ・グローバルリサーチインスティテュート設置講座 ・アート・センター設置講座 ・ミュージアム・コモンズ(KeMCO)講座 ・全学部共通科目「データサイエンスと人工知能」 ・慶應義塾外国語学校設置講座のうち、商学部および他学部に設置されていない外国語					
	自由科目Ⅱ (A欄) (B欄61)	・教職課程センター設置科目 ・教員免許取得のために履修する教職課程授業科目 ・メディア・コミュニケーション研究所設置講座(研究生として履修する場合)					

05学則 三田設置専攻科目(Ⅲ類)一覧(参考)

分 野		科 目
A 経営	企業経営や組織についての理論的また方法論的研究だけでなく、現代日本の企業に対する実証的・計量的研究を含めた広範な問題を扱っています。そこで扱われるアプローチもアメリカ経営管理論からドイツの経営経済学にまでおよんでいます。	現代企業経営各論 [優良企業の経営を支えるトップの戦略などの分析・評価] 経営管理各論 [企業の組織の効率的なデザインやその経営問題の検討] 経営学説史各論 [今日までの日米独の経営学思想発展の歴史の検討]
		会計史Ⅰ・Ⅱ [近代会計制度の成立、会計・監査の機能] 財務会計各論 [会計の原理・方法、会計の仕組み、会計の働き] 会計監査各論 管理会計各論 [会計による経営管理の支援、意思決定、業績評価]
B 会計	洋式簿記の最初の紹介者である福澤諭吉を祖として、その伝統を守っています。財務会計、管理会計、会計監査を対象に、国際的、戦略的、歴史的観点から取り上げています。	マクロ・マーケティング論 [マクロ的に見たマーケティング・システムとその社会とのインタラクションに関する総論的科目] マクロ・マーケティング各論 ミクロ・マーケティング論 [消費者行動やマーケティング管理といったミクロ的研究の成果に関する総論的科目] ミクロ・マーケティング各論 マーケティング学説史 [マーケティング研究の時系列的全体像を獲得するための総論的科目] マーケティング史 [これまでにマーケティング現象がどのように出現してきたのかを理解するための総論的科目]
C 商業	商品やサービスを中心として起こる市場の問題を、理論的・経験的に解明することを目指しています。その対象は、マーケティング意思決定、流通・小売、広告・コミュニケーション、サービス、消費者行動等々にまでおよんでいます。	国際経済学Ⅰ・Ⅱ [国際貿易、国際資本移動、国際経済政策] 国際経済学各論 世界経済論Ⅰ・Ⅱ [世界経済の諸問題とその考え方] 世界経済各論 国際金融論Ⅰ・Ⅱ [金融のグローバル化、国際通貨制度、為替政策] 国際金融各論
D 経済・産業	D1 国際経済 国際化の時代において、世界経済と日本経済の関係がより密接かつ多面的になる中、貿易、資本移動、技術移転、国際通貨制度といった諸問題を理論的・実証的に解明し、政策提言を図ります。	理論経済学Ⅰ・Ⅱ [中級ミクロ・マクロ経済理論] 理論経済学各論 経済政策Ⅰ・Ⅱ [日本の経済政策と競争市場メカニズム] 経済政策各論 経済統計Ⅰ・Ⅱ 経済統計各論 計量経済学Ⅰ・Ⅱ [計量経済分析の方法論とその応用] 計量経済学各論
	D2 計量経済 理論とデータを使って企業や家計の行動を定性的・定量的に分析し、社会の変化に対応した市場や政策の在り方を考察します。	

分 野		科 目
D 経済・産業	D3 金融・保険	金融論Ⅰ・Ⅱ [金融システム, 金融市場, 家計・企業の金融行動, 銀行行動, 金融政策] 金融各論 財政学Ⅰ・Ⅱ 財政学各論 証券経済論Ⅰ・Ⅱ 証券経済各論 保険学Ⅰ・Ⅱ [リスク・マネジメント, 保険制度, 保険経営] 保険学各論 リスク・マネジメント各論
	D4 交通・公共政策・産業組織	産業組織論Ⅰ・Ⅱ [日本の産業組織, 中小企業, 合併, 独禁法] 産業組織各論 サービス経済学Ⅰ・Ⅱ 交通経済論Ⅰ・Ⅱ 交通経済各論
	D5 労働・社会	労働経済学Ⅰ・Ⅱ [労働力構造, 労働市場, 雇用制度] 産業関係論Ⅰ・Ⅱ [雇用問題, 労使関係, 企業と社会] 産業関係各論 産業社会学Ⅰ・Ⅱ [高度産業社会の社会構造が人々に課す構造的制約] 産業社会学各論 組織心理学 a・b [モチベーション, 職務満足, 組織行動] 社会保障論Ⅰ・Ⅱ [医療, 老後, 育児介護等の諸問題] 社会保障各論
	D6 産業史・経済史	産業史 [比較産業史, 産業の盛衰要因, 生産技術] 産業史各論 経営史 [比較経営史, 巨大企業の成立, 企業者史] 経営史各論
グローバル	Global Passport Program (GPP) におけるコースワークとして英語で実施される科目です。経営, 会計, 商業, 経済・産業分野から大学院修士レベルの内容を扱う科目が提供され, 理論の修得と知的レベルの向上を目指します。	
学際	商学におけるフィールド・分野をまたがる学際的な科目です。経済社会現象にアプローチするための基礎から最新の知見の理解・習得を目指します。	
	科目の詳細については「履修案内(三田キャンパス第3・4学年)」あるいは、Web サイトから確認してください。 https://www.students.keio.ac.jp/mt/fbc/class/program/gpp.html	
	商学のためのデータサイエンス	

履修上の注意

(1) 設置学年について

科目設置学年は履修を推奨する学年です。必修科目はその学年で必ず履修しなければなりません。上級学年に設置された科目の履修は原則として許可されません。上級学年の学生が下級学年設置の科目を履修することは可能です。

(2) 履修上限単位

- ・各年度で履修できる単位数の上限は、春学期・秋学期の履修単位数の合計で 50 単位です。
- ・自由科目は 50 単位の枠外で履修できます。自由科目は進級・卒業の単位には含まれません。
- ・遠隔（オンライン）授業による修得単位は、卒業要件として修得すべき単位のうち 60 単位を超えないものとします（本書 p. 6）。

(3) 重複履修について

①曜日時限が重複している科目の履修

- ・曜日時限が重複している場合、その授業科目を重複して履修することはありません。
- ・日吉地区の授業科目と他地区の授業科目の場合、移動不可能な履修は重複とみなされます。但し、一方または双方が遠隔（オンライン）授業の場合、この限りではありません。学生個人の責任において、不都合がないか確認したうえで履修申告を行ってください。

②同一名称、併設科目で実質的に同一とみなされる科目の履修

以下の例外を除き、同名の科目は同一学年内、および学年が異なっても重複して履修することは認められません（自由科目を除く）。外国語科目については、別冊『商学部外国語科目・総合教育セミナー履修案内』を参照してください。

〈重複履修が認められるケース〉

総合教育科目Ⅱ類 （「総合教育セミナー」以外）	①担当者が異なる場合 ②同担当者でも内容が異なり、担当者の許可（※）を得ている場合
「総合教育セミナー」 （他学部設置少人数セミナー含む） 「データとの対話」	①担当者が異なる場合 ②同担当者でもサブタイトルが異なる場合（担当者の許可不要）
総合教育科目Ⅴ類実技科目	重複履修可

※日吉学生部商学部窓口で「重複履修許可申請書」を受け取り、担当者の許可を得ること。
申請書の提出がない場合、履修は認められません。（提出締切：各学期履修申告期間（二次申告）内）

(4) A 欄申告と B 欄申告について

履修申告欄は A 欄と B 欄によって構成されています。商学部設置科目はすべて A 欄で申告してください。学則に応じた分野が自動的に登録されます。他学部・研究所・センター設置の授業科目等、商学部の分野が割り振られていない科目を履修する場合や、自由科目を履修する場合は、以下の B 欄分野コード（2桁の数字）を使って B 欄で申告し、分野を登録する必要があります。申告できる分野は科目によって決まっています。

B 欄分野コード	科 目 名 など
16	日本語（1年生）
26	日本語（2年生）
31	他学部設置少人数セミナー形式科目（総合教育科目Ⅰ類）※
34	他学部設置少人数セミナー形式科目（総合教育科目Ⅱ類）※
36	他学部設置少人数セミナー形式科目（総合教育科目Ⅲ類）※
38	他学部設置の科目・諸研究所科目・商学部設置で必修分とは別に履修する必修外国語科目を総合教育科目Ⅲ類として履修する場合
60	自由科目Ⅰ
61	自由科目Ⅱ

※履修を希望する他学部設置少人数セミナーが総合教育科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類のいずれに該当するかは、商学部からのお知らせを keio.jp で確認してください。

〈自由科目Ⅰについて〉

- ① 履修できる単位数の上限は、各学年毎に**最高 8 単位**までです。
- ② 以下の科目を履修できます。（B 欄申告）
 - a. 他学部設置の科目で履修が許可されたもの
 - b. 商学部設置科目（必修科目は履修を許可された場合のみ可。「経済学基礎Ⅰ」を2コマ等、同一科目の履修も可）
 - c. 履修制限（8 単位）を超えて履修する本大学の諸研究所設置講座
 - d. 慶應義塾外国語学校設置講座のうち、商学部および他学部に設置されていない外国語

〈自由科目Ⅱについて〉

以下の科目を上限なしで履修できます。

- ①メディア・コミュニケーション研究所設置講座（B 欄申告）
（第2学年以上の学生で研究所研究生の登録をした者）
- ②教職課程センター設置科目（A 欄申告）
- ③教員免許取得のために履修する教職課程授業科目（B 欄申告）

(5) 科目名の末尾について

①科目名の末尾に「Ⅰ・Ⅱ」がつくもの（外国語科目は除く）

半期完結型科目。成績は、原則としてⅠが春、Ⅱが秋につきます。

一部の科目については担当教員の判断により、Ⅰを秋、Ⅱを春に開講することがありますが、カリキュラム上の問題はありません。

先修条件（※）が設置されている場合や、セットでの履修が推奨されている場合もありますので、Web上の「シラバス・時間割」(<https://gslbs.keio.jp/syllabus/search>)で確認してください。

※「〇〇Ⅱ」を履修するには、原則として「〇〇Ⅰ」を履修しなければならない等。

②科目名の末尾に「a・b」がつくもの

セット履修しなければならない科目。成績はいずれも学年末につきます（外国語科目を除く）。

③科目名の末尾に「D・S」がつくもの

Dは通年もしくは半期集中科目で4単位、Sは半期科目で2単位。

(6) 指定演習科目について

商学部ではきめの細かい教育を実践するために、少人数による演習形式の授業があります。総合教育科目Ⅰ類からⅣ類の以下科目の中からいずれか1科目2単位以上を必ず履修してください（自由科目での履修は除く）。

Ⅰ類	化学Ⅰ（実験を含む）	
	化学Ⅱ（実験を含む）	
	生物学Ⅰ（実験を含む）	
	生物学Ⅱ（実験を含む）	
	物理学Ⅰ（実験を含む）	
	物理学Ⅱ（実験を含む）	
	総合教育セミナー（Ⅰ類）	
	他学部設置少人数セミナー（Ⅰ類）	
Ⅱ類	総合教育セミナー（Ⅱ類）	
	他学部設置少人数セミナー（Ⅱ類）	
Ⅲ類	アカデミック・スキルズⅠ	
	アカデミック・スキルズⅡ	
	アカデミック・スキルズⅢ	
	アカデミック・スキルズⅣ	
	総合教育セミナー（Ⅲ類）	
	他学部設置少人数セミナー（Ⅲ類）	
Ⅳ類	確率論基礎	05学則
	ゲーム理論基礎	05学則
	線形代数	05学則

Ⅳ類 (自主強化科目)	線形代数演習
	微積分演習
	中級線形代数
	中級微積分
	データとの対話 (D/Da・b/S)
	英語アカデミックライティング
	英語ディスカッション
	英語ディベート
	英語プレゼンテーション
	英語リーディングセミナー
	英語リスニングセミナー
	ドイツ語インテンシブⅢa・b
	ドイツ語インテンシブⅥ-Ⅰ・Ⅱ
	フランス語インテンシブⅢa・b
	フランス語インテンシブⅥ-Ⅰ・Ⅱ
	中国語インテンシブⅢa・b
	中国語インテンシブⅥ-Ⅰ・Ⅱ
	スペイン語インテンシブⅢa・b
	スペイン語インテンシブⅥ-Ⅰ・Ⅱ

◎：ぜひ履修してきて欲しい科目 ○：できれば履修してきて欲しい科目（専攻分野内 50 音順）

◎：ぜひ履修してきて欲しい科目 ○：できれば履修してきて欲しい科目（専攻分野内 50 音順）

注意) ①微積分基礎(微積分Ⅰ)、統計学基礎(統計学Ⅰ)は必修科目なので表には載せていない。
 ②※印は2025年度は開講しない(ただし、菊澤ゼミ・高橋郁ゼミ・久保ゼミは4年生のみ開講する)。
 ③数学教室から「微積分」は特に基本的で重要な科目のため、「微積分基礎」とあわせて履修すること強く推奨します。

特色あるプログラム

【国際教養プログラム・数理科学プログラム】

商学部には、専門分野である商学以外にも何か一つ、自分の興味のある分野を自主的かつ系統的に学ぶことができるように、いくつかの「プログラム」が用意されています。「自分は大学でこれを学んだ」という得意分野をアピールできるよう、4年間を通しての体系的な学習を支援するカリキュラムです。日吉から始まるプログラムには、外国語をベースとして英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語の各言語圏に応じて設置されている「国際教養プログラム」と、数学を中心とする「数理科学プログラム」があります。「国際教養プログラム」では、語学力だけでなく、各言語圏の歴史や文化に関する知識と理解を深めることをめざします。「数理科学プログラム」では、論理と数字に対する自信を深め、社会活動とも結びつく応用的なスキルを身につけることが目標です。詳細については、別冊の『国際教養プログラム・数理科学プログラム』パンフレットおよび商学部公式ウェブサイトを参照してください。

【Global Passport Program (GPP)】

Global Passport Program (GPP) は商学部設置されている3・4年生を対象とした専門的な国際プログラムです。GPPは経済・社会のグローバル化に対応するため、専門性の高いコースワークと少人数形式のワークショップを原則英語で行う教育プログラムとなり、できるだけ1年次、2年次のうちに必修英語科目のみならず、複数の選択英語科目を履修しておくことが望まれます。要件を満たすと熟長ならびに商学部長よりプログラム修了の認証が与えられます。

詳細および最新情報については、以下の塾生サイトで確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/mt/fbc/class/program/gpp.html> (keio gppでも検索可能)

【ダブルディグリー・プログラム】

ダブルディグリー・プログラムとは、商学部生が在学中に海外の協定校に留学して所定の単位を取得することによって、慶應義塾大学と海外協定校の双方の卒業が可能となり、それぞれの大学から学位を取得することができるプログラムです。

・北京大学 光華管理学院「次世代リーダー・プログラム」

本プログラムは、1・2年次に所定の単位を取得した成績優秀な商学部生(3・4年生)を北京大学に2年間派遣するものです。留学終了後、慶應義塾大学で1年間修学し、最短5年間で双方の学位を取得することができます。

北京大学では、世界中の名門大学(14カ国14大学)からの留学生たちと共に学生寮に滞在し、英語で開講される授業を履修します。留学中の学費や寮費などは、北京大学から給付される予定です(ただし、留学年度や成績等によって要件や助成内容が変わる可能性があります)。派遣生には高い学識と英語力が求められる一方、第二外国語としての中国語選択は、派遣における必須条件ではありません。詳細および最新情報については、以下の塾生サイトで確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/mt/fbc/class/program/fbc-beijingdd.html>

